

## ハチミツ以外にもあるミツバチ由来の生成物

ロイヤルゼリーとプロポリスには各種ビタミン・ミネラルが豊富に含まれ、健康食品として人気を集めている。

### ロイヤルゼリー

ミツバチの主な食料は、花蜜と花粉。働きバチは巣に蓄えられた花粉を盛んに食べる。腸に送られた花粉はアミノ酸となり、あごにある唾液腺に送られ生合成が行なわれる。上あごと下あごにある唾液腺で分泌され混ざった乳白色のものがロイヤルゼリーとなる。ロイヤルゼリーはハチミツと違い、酸味が強く、舌を刺激する収れん性がある。ロイヤルゼリーはミツバチにとって特殊な食料で、幼虫と女王バチにしか食べることが許されない、いわば宮廷料理のようなもの。働きバチが作るのに彼らが食べることはない。ハチミツと根本的に違うのは、ロイヤルゼリーは花粉から作られる生成物であること。

### プロポリス

pro（プロ＝前・正面）と polis（ポリス＝都市）で城壁を意味する。ミツバチは、木の若芽や樹皮などから集めた樹脂（ヤニ）を花粉を運ぶ時と同じように団子状にして巣に持ち帰る。巣枠の棧やふたの裏、出入り口などにこの『蜂ヤニ』＝プロポリスを塗っていくことで、巣を固定する接着剤として、また巣の隙間から外敵が侵入するのを防止する『パテ』として、あるいは出入り口に塗ることで『足拭きマット』として、巣に菌が持ち込まれるのを防ぐ。ミツバチの外敵としてネズミやカエルが巣に侵入した場合、殺してもミツバチは巣の外に運ぶことができない。その際、プロポリスで塗り固め、腐敗するのを防ぐ。死骸は漆で塗られたミイラのように無菌状態で保たれる。ミツバチの巣はこうした強い抗菌・防腐作用を持つプロポリスのおかげで、病院の無菌室のように清潔な巣内環境を実現している。



ハチミツ特集は、いかがでしたか？ パースであなたのお気に入りのハチミツを見つけて、ゆっくり味わってみてください！【編集部より】

© THE PERTH EXPRESS